

企業局経営基本計画の取組状況（令和元年度）に対する評価について

No.	委員からの意見	意見への対応など
電気	<p>・八ッ場発電所建設に必要とある増額・遅延分が後年度の経営にどの程度の影響を与えるのか。</p> <p>・八ッ場ダム of 景観対策工事はどの様な工事か。（宇野委員、伊勢委員、風間委員、柳澤委員）</p>	<p>八ッ場発電所は固定価格買取制度（FIT）を利用しており、FIT認定日から7年以内（R4.2.12）に運転を開始できれば総収入への影響はありません。ただし、総事業費を9億円増額したため、運転中の人件費、修繕費等経費を考慮した投資回収期間は2年延びて12年となります。</p> <p>・地上部分を最小にする地下式の発電所構造に変更したものです。</p>
工水	<p>・年間契約水量の未達によって予算額よりもどの程度収益額が減ったのかが明らかになっていた方がわかりやすい（その分は費用削減等でカバーしたのでしょうか）。（宇野委員）</p>	<p>・年間契約水量の未達による減収額を参考として提示します。</p> <p>（令和元年度） 東毛工水の未達量:2,945千m³による減収は、約82,000千円/年になります。</p>
水道	<p>・経費回収率がどの程度となっているかも合わせて記載されていると良いのではないかと思います。</p> <p>また、「計画に定めた取組の主な実績」についても、たとえば更新・耐震化などについて工事の進捗（それも計画通りであったのかどうかもわかるとよい）だけでなく、当該年度の耐震化率などの情報もあるとわかりやすい。（宇野委員）</p>	<p>・水道事業における料金の算定方法は、総括原価方式であり、群馬県企業局の水道事業における経費回収率（≒経常収支比率）は構造的に100%を上回っているため、経営基本計画には記載しておりません。</p> <p>・次期経営基本計画では、目標値（KPI指標）として、耐震化率の記載を検討しています。</p>
団地	<p>「藤岡インターチェンジ西産業団地」の進捗が遅れた理由は何かについての説明があるとわかりやすいと思います。</p> <p>産業団地の分譲面積の達成率が192%と大変優れていると思います。（宇野委員）</p>	<p>・「藤岡インターチェンジ西産業団地」の完成目標はR元年度でしたが、用地買収に時間を要したことから（約1年の遅れ）、完成がR2年度になりました。</p>

<p>団地</p>	<p>・住宅団地については、進捗率が良くないが、これが外部環境の影響なのか（あるいは団地の立地の問題か、プロモーション手法の問題か）、たとえば、近隣の住宅取引の状況などを分析してみることも有益ではないかと思います。また、民間ノウハウの活用方法としてどのようなことが検討されているのでしょうか。</p> <p>・板倉ニュータウンの記事を見ました。画期的な解決方法がないとすれば、このような地道な努力を続けて行くことが肝要だと思います。</p> <p>（宇野委員、伊勢委員）</p>	<p>・令和2年度より民間事業者の企画力や販売力などのノウハウを活用した新たな販売戦略に基づいたプロモーションを展開しており、分譲促進を図って行きます。</p>
<p>団地</p>	<p>・工業団地の造成・分譲は、おおむね順調のようですが、今回もコロナ・ショックでライフスタイルが激変し、産業構造の変化をもたらす可能性もある中どのようにしていくか。（柳澤委員）</p>	<p>・厳しい業界・分野がある一方で伸びる分野もあり、必ずしも需要が鈍化しているとは言えないが、今後とも情報収集等に努め、大きな変化にも対応していきます。</p>
<p>団地</p>	<p>板倉団地内の東洋大学移転計画について、この間の経過及び移転についての考え方を聞きたい。</p> <p>（八田委員）</p>	<p>・東洋大学板倉キャンパスは、企業局が土地を造成・分譲し、平成9年4月に国際地域学部及び生命科学部の2学部で開設されました。その後、一部の学部再編を経て、現在は、生命科学部及び食環境科学部の2学部が設置されています。平成30年11月に、大学から「板倉キャンパスのあり方について、移転を前提とした検討を始めたい」との申し入れがあり、これを受け、当時の県企画部が主体となって、引き留めを図ってきました。しかし、今年3月に板倉キャンパスからの撤退が発表されました。</p> <p>・今後、県の地域創生部と板倉町にて、大学移転後の跡地などをどうするかについて大学と交渉していくこととなりますが、企業局としても、ニュータウンの開発者という立場から、情報を共有してまいります。</p>

<p>施設</p>	<p>・ゴルフ場の利用者自体は台風等もあり未達でしたが、生涯スポーツとしてのゴルフ場の普及促進の各種イベントが盛況である点はとても良いと思います。新型コロナウイルス感染症対策に十分に留意し、引き続き取り組んでいくと良いと思います。参加者の分析なども進めると有益な情報が得られるのではないかと思います。</p> <p>格納庫が台風の一時的な格納スペースとして活用されたことは、県内の危機管理の面で役だったということだろうと思います。引き続き現在の施設利用率の維持と災害時の緊急用スペースの確保に努めてもらいたいと思います。（宇野委員）</p>	<p>・ゴルフ場事業では、各種イベントの実施主体である指定管理者と連携しながら、新型コロナウイルス感染防止対策に留意したうえで、引き続きイベントを実施します。また、参加者の分析も行い、今後の効率的な事業実施に活用します。</p> <p>・格納庫事業は、今後も現在の入居率を維持しつつ、空き区画については、緊急時等の短期貸付け用のスペースとして活用します。</p>
<p>施設</p>	<p>公社ビルの会議室は、時間単位で貸し出しており、利用者にとって便利な施設です。利用者へのPRがもっと必要だと思います。（八田委員）</p>	<p>・ホームページや県の各種広報媒体を利用し、引き続き利用者拡大のためのPRに取り組みます。</p>

企業局経営基本計画の目標の達成状況総括表

事業名	目標項目	目標値 (令和元年度)	実績値 (令和元年度)	実績の評価
各事業通	「ぐんま未来創生基金」への繰出	3年間で 総額20億円	3年間で 計30億円	達成 (達成率 150%)
電 気	年間供給電力量	853,000千KWh/年	872,146千KWh/年	達成 (達成率 102%)
	ハッ場発電所 建設	令和元年度 完成	工事進捗率70% (出来形)	未達成 (達成率 70%)
工業用道	年間契約水量	75,500千m ³ /年	72,555千m ³ /年	概ね達成 (達成率 96%)
水 道	水道水質基準 の達成	100%	100%	達成 (達成率 100%)
	年間給水量	82,000千m ³ /年	83,362千m ³ /年	達成 (達成率 102%)
団 地 成	新規産業団地 造成面積	4年間で 計80.7ha	4年間で計76.3ha	概ね達成 (達成率 95%)
	産業団地の 分譲面積	4年間で 計60ha	4年間で計115.1ha	達成 (達成率 192%)
	住宅団地の 分譲区画数	4年間で 70区画	4年間で32区画	未達成 (達成率 46%)
施 設 理	格納庫利用率	66% (年度末)	67.2%	達成 (達成率 102%)
	公社総合ビル 入居率	80% (年度末)	79.8%	達成 (達成率 100%)
	県営ゴルフ場 利用者数	250,000人/年	231,432人/年	概ね達成 (達成率 92%)